

## 市、区及び関係団体からの情報提供

- 資料 1 各地域防災拠点運営委員会の取組紹介（戸塚区総務課）
- 資料 2 戸塚区地域防災アドバイザー派遣制度（戸塚区総務課）
- 資料 3 令和 4 年度 地域防災拠点配備物品一覧（戸塚区総務課）
- 資料 4 災害による停電時、充電が必要な医療機器について(情報提供)（戸塚区総務課）
- 資料 5 アンケート結果を踏まえた資機材見直しの方向性について（戸塚区総務課）
- 資料 6 災害時のペット対策（戸塚区生活衛生課）
- 資料 7 「災害時のお口の健康づくり」普及啓発リーフレットの配布について（戸塚区福祉保健課）
- 資料 8 令和 5 年度 地域防災拠点運営研修のご案内（総務局地域防災課）
- 資料 9 災害用ハマッコトイレ（環境創造局管路保全課）
- 資料 10 ハマッコトイレの地域要望（治具配布・動画公開）への対応について（環境創造局管路保全課）
- 資料 11 令和 5 年度 災害時に備えた訓練《水道局》（水道局戸塚水道事務所）
- 資料 12 災害用コミュニケーションボード等の再配布について(健康福祉局障害施策推進課)
- 資料 13 横浜市アマチュア無線非常通信協力会戸塚区支部のご紹介（横浜市アマチュア無線非常通信協力会戸塚区支部）
- 資料 14 「横浜防災ライセンス とつか」のご紹介（横浜防災ライセンス とつか）
- 資料 15 とつか災害ネットのご紹介（とつか災害救援活動ネットワーク）
- 資料 16 エフエム戸塚 ご紹介資料（エフエム戸塚）

## 各地域防災拠点運営委員会の取組紹介

## 1 訓練結果

## (1) 優良事例

- ・地域防災拠点と福祉避難所の連携訓練を実施しました。(柏尾小)
- ・地域防災拠点の区割りについて、1ブロック(10人~20人)で区割りされたロープ(または紐)を事前に作成しており、震災発生時の区割りの際は、短時間で正確な区割りを実施できるようになった。保管スペースも小さく、移動も容易なので、拠点開設に有効なアイデアです。(東品濃小)

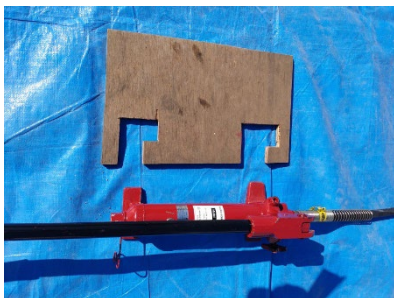


区割り体験

- ・地域防災拠点と補充的避難所に指定されている県立高校で、震災発生時に地域住民が円滑に活用できるように連携訓練を実施しました。(上矢部小・鳥が丘小)



- ・地域防災拠点の救助資機材(油圧ジャッキ)について、使用時に油圧ジャッキ部分が動いてしまうことがあるため、防止策として木材を切断し、足で抑えて固定できるようなパネルを作成し活用するとともに、他拠点へも提供しました。(豊田中)



・地域と学校の連携について、地域の拠点役員が、小学校4年生に対して自助・共助・公助に関する防災講和を実施している。(名瀬小・深谷小) また、深谷小の生徒が、地域防災拠点の訓練時に、自助・共助の必要性を訴える寸劇やクイズを出題する等の取組を実施している。さらに、講和を受けた4年生が5年生に進学した際に、新4年生へ防災講和を実施し伝承できていました。(深谷小)



自治会・町内会の防災担当の方へ

# 戸塚区地域防災アドバイザー 派遣制度

無料

先着  
30回

## 例えばこんな困りごとはありませんか？



何から始めたらいいかわからない  
防災マニュアルの作り方がわからない  
防災訓練の内容を見直したい

## その困りごと アドバイザーに相談してみませんか？

### アドバイザーの活用例

- ・防災の取組を講義形式で学ぶ
- ・防災マニュアルやチラシの作成支援
- ・防災訓練のメニュー検討、訓練の講評などが実施できます。



### 申込み

まずは戸塚区役所にお問合せのうえ、  
希望の派遣日の1か月前までに、戸塚区役所総務課に申請書をご提出ください。

ホームページはこちら



## 6月1日より受付開始！

### 問合せ


戸塚区役所 総務課 防災担当


☎ 045-866-8307

✉ to-bousai@city.yokohama.jp

## 令和4年度 地域防災拠点配備物品一覧

令和4年度に戸塚区で購入した次の物品を、各拠点に配備しました。

トランシーバー用の予備電池として配備しました。 訓練等の平常時に使用して電池が無くなった場合は、助成金で購入するなどの対応をお願いします。		
状態	物品	個数
	単3電池	20本

市配備物品のランタンおよびガス式発電機を震災初期に間違いなく使用できるよう、乾電池及びカセットボンベを配備します。(ローリングストックで継続的に配備します。)		
状態	物品	個数
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単4電池</li> <li>・カセットボンベ</li> </ul>	80本 6本

## 乾電池及びカセットボンベのローリングストックの考え方

## 【乾電池（市配備ランタン用）】

市配備ランタン80個（1個あたり単4電池4個）を震災初動時においても全て点灯できるように320個の電池を常時備蓄するため、乾電池のローリングストックを行っています。

## 【カセットボンベ】

市配備ガス式発電機3台（まかないくん用及び日本赤十字寄附によるガス式発電機は除く）を震災初動時において12時間運転可能になるよう、カセットボンベ36本（1台12本分）のローリングストックを行っています。

品目	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度以降
単4乾電池	5年間で320本の配備を完了				配備完了	毎年度、使用期限切れのものを更新			
カセットボンベ	6年間で36本の配備を完了				配備完了	7年度を除く毎年度、使用期限切れのものを更新			

※乾電池は、令和5年度で配備完了（320本）、カセットボンベは令和6年度で配備完了（36本）の予定です。

ローリングストック備蓄対象の単4電池及びカセットボンベについては、なるべくまとめて管理していただけると助かります。

## 災害による停電時、充電が必要な医療機器について(情報提供)

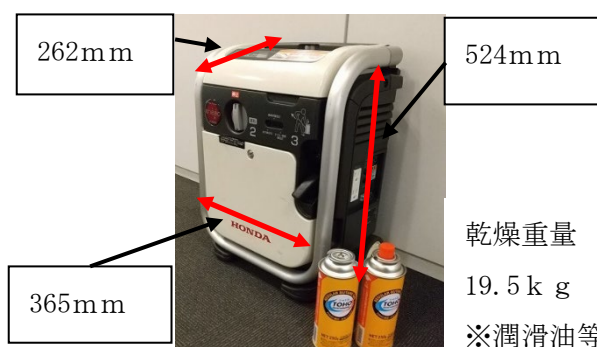
地域防災拠点の電源配備状況は御存知ですか。

過去の震災等では、被災地に大規模な停電が長期間にわたって発生しており、戸塚区内でも過去に大きな停電が発生しています。

地域防災拠点の電源配備状況を確認していただくとともに、戸塚区で検討している災害時の停電対策について共有することで、地域防災拠点の円滑な運営に力添えできればと思います。

### 地域防災拠点電源配備状況

配置場所	配置器具	配置器具
地域防災拠点 (小学校×26校)	インバーター発電機 (エネポ) ×各6台 (計156台)	ガソリン式発電機各3台
地域防災拠点 (中学校×9校)	インバーター発電機 (エネポ) ×各5台 (計45台)	ガソリン式発電機各3台
合計	計201台	計105台



インバーター発電機 (エネポ)  
仕様 900W・AC100V  
コンセント2口 9A

乾燥重量

19.5kg

※潤滑油等の重さは除く

### 地域防災拠点運営員の皆様へ

停電は、電源を要する医療機器 (人工呼吸器や酸素発生器等の生命維持装置)を在宅で使用する方々の生命に関わる重大な危機となります。これらの医療機器は、充電可能なバッテリー等を使用しており、各自がメーカーや病院と連携して1日程度の電源を確保しています。しかしながら、大規模地震等で長時間の停電が発生した際は、各地域防災拠点へ訪れることがあるかもしれないことを、御承知おきください。

そこで、電源を要する医療機器を在宅で使用する方々から、医療機器で使用している充電可能なバッテリー等の充電を求められた際は、各地域防災拠点の職員と情報共有するとともに、無線等を活用し区本部に御相談ください。

## アンケート結果を踏まえた資機材見直しの方向性について

令和4年度末に実施した、「地域防災拠点における資機材見直しに係るアンケート調査」の結果等を踏まえ、各地域防災拠点から救助資機材の一部を回収します。

### 1 回収対象資機材

エンジンカッター	2台
レスキュージャッキ	1台
応急担架用ポール	10本

エンジンカッターとジャッキについては、拠点の希望により残すことも可能とします。



※同等品含む

### 2 回収時期及び場所

令和6年1～2月に、各地域防災拠点において回収します。

### 3 資機材回収の意向調査

#### (1) エンジンカッター及びジャッキ

拠点に残すことを希望する場合には、戸塚区総務課にご報告をお願いします。

※「【区に提出が必要な書類】(3)備蓄食料の有効活用及び資機材の回収について」を参照

なお、拠点に残した資機材の更新・廃棄等は、全て各拠点でお願いすることになりますので、それを踏まえた検討をお願いします。

#### (2) 応急担架用ポール

過去に応急担架用ポールを使用した訓練実施時に、ポールが破損したことがあるなど、経年劣化が進んだポールを使用することによる避難者等の負傷リスクに鑑み、一律回収することとします。



地域防災拠点の訓練メニューの1つとして

# 災害時のペット対策 をご検討ください！

過去の大規模災害発生時には、ペットを連れた被災者が避難場所に避難してきた例が多数ありました。戸塚区でも多数のペットが飼育されており、災害発生時に混乱が生じないよう、事前の準備が必要です。ペットを飼育している方も、そうでない方も、地域防災拠点等で避難生活を円滑に送るためには、**あらかじめペットと同行避難して来る人を想定して、一時飼育場所を設定するなど、平常時からの準備が大切です。**

戸塚区の犬の登録頭数 11,591 頭 (R4年3月末)  
(横浜市の犬の登録頭数 168,654 頭)

**18区中4番目！**  
猫も同程度飼われていると推計されます

## ペット同行避難受付セット(ファーストミッションセット)をご活用ください！

令和3年度に戸塚区内の全拠点に配置しました。

災害発生時に、ペット同行避難者の受付、一時飼育場所の設置を同行避難者が自ら行うためのキットです。受付セットの中に、「**ペットの飼育ルール**」と「**ペットの一時飼育場所開設・運営マニュアル**」が入っています。拠点の状況に応じて内容の追加、修正をしてお使いください。

戸塚区役所ホームページ  
「災害時のペット対策」からも  
ダウンロードできます。



## 生活衛生課では地域防災拠点でのペット対策の支援を行っています！

生活衛生課では各種メニューを用意して、地域防災拠点でのペット同行避難への取り組みをお手伝いしています。地域防災拠点での一時飼育場所の設定や飼育ルール作りのご相談にも対応いたします。ご要望がありましたら以下の連絡先までお問い合わせください。

### 【メニュー例】

- ① **地域防災拠点運営委員会での出張講座（運営委員向け）**
  - ・災害時のペット対策について
  - ・ファーストミッションセットの使い方
  - ・一時飼育場所の設定、飼育管理ルール作り
- ② **地域防災拠点訓練会場での出張講座・展示（訓練参加者向け）**
  - ・災害時のペット対策リーフレットの配布
  - ・啓発用パネル、ペット同行避難グッズなどの展示、説明
  - ・受付セットを使った一時飼育場所の設置訓練



【飼い主向け】  
災害時のペット対策  
リーフレット

### 【お問い合わせ先】

戸塚福祉保健センター 生活衛生課 環境衛生係 (担当：鈴木)

TEL 866-8476 / FAX 866-2513 E-mail [to-eisei@city.yokohama.jp](mailto:to-eisei@city.yokohama.jp)

令和5年5月24日

地域防災拠点運営委員長各位

戸塚区福祉保健課

「災害時のお口の健康づくり」普及啓発リーフレットの配布について（依頼）

向暑の候 ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から、横浜市政の推進に御協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、大規模災害の発生時には、多くの被災者が避難所などの集団生活を強いられます。避難生活が長期化すると、偏った食生活やストレスなどが原因で歯や口の問題が生じやすくなります。また、水不足から歯みがきやうがいなどの口腔清掃がおろそかになりがちです。

添付のリーフレット（A3判2つ折り）は、災害時に備えて歯や口の健康を守るためのポイントをまとめたものです。

昨年度に引き続き、今年度も地域防災拠点訓練の際に参加者の皆様に配付していただければ幸いです。リーフレットは、地区の担当係長を通じてお届けいたします。

ご協力の程よろしく願いいたします。

&lt; 連絡先 &gt;

戸塚区福祉保健課

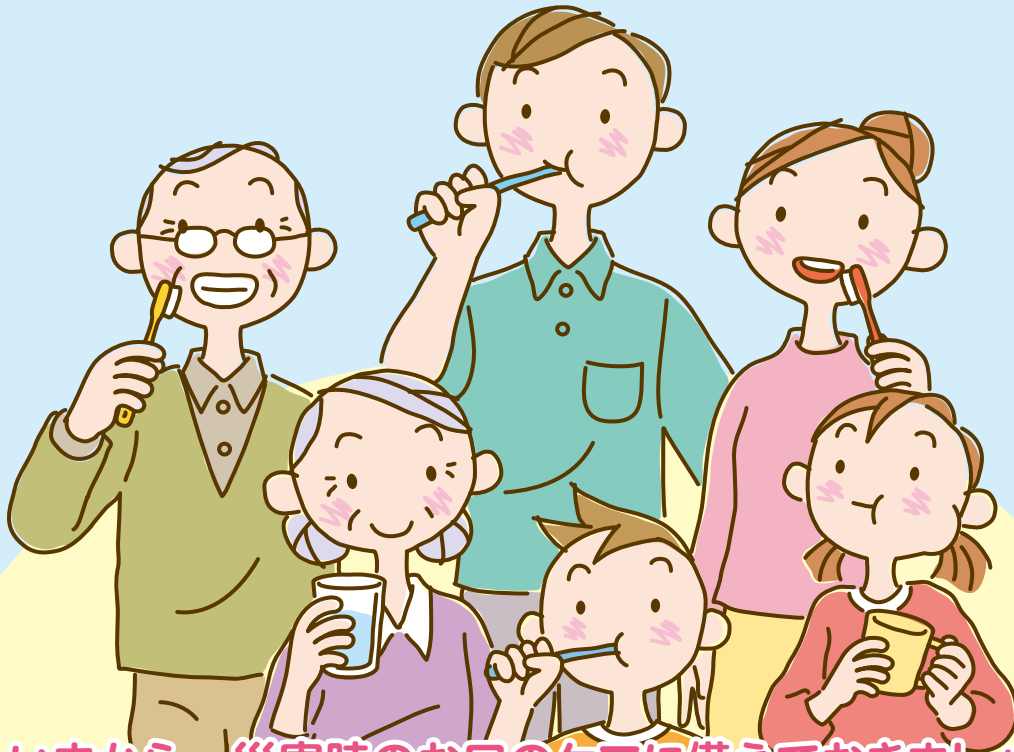
健康づくり係

尾崎、吉田、大八木

電話 045-866-8427

FAX 045-865-3963

# 災害時のお口の健康づくり



いまから、災害時のお口のケアに備えておきましょう！

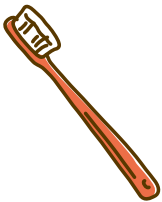
災害時は、避難生活のストレスや水不足などからお口のケアが不十分になり様々なお口のトラブルが起こりやすくなります。避難生活が長引くと、お口のケアすることが「命を守る」ことにつながります。

歯ブラシは  
防災グッズの中に  
入っていますか？



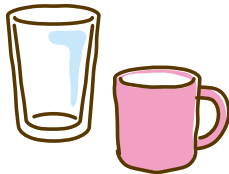
災害時のお口のケアで備えておきたいもの

✓ 歯ブラシ



あれば歯間清掃用具や  
入れ歯用のお口のケア  
グッズ

✓ コップ



✓ 水 1回あたり  
30ml程度



ペットボトルの  
水やお茶の場合  
キャップ5~6杯が目安

✓ ティッシュ  
ペーパー



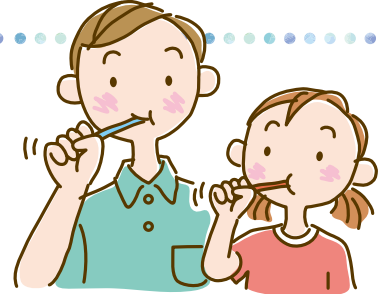


point 1

# お口のケア

お口のケアが不十分になることで、むし歯や歯周病、口内炎、口臭などの様々なお口の病気が悪化しやすくなります。特に高齢者はお口のケア不足により、口の中の細菌が増え誤えん性肺炎などが起こりやすくなってしまいます。災害時にもお口のケアはかせません。

## 水不足でもできる歯みがき



1

### コップと水を用意しましょう

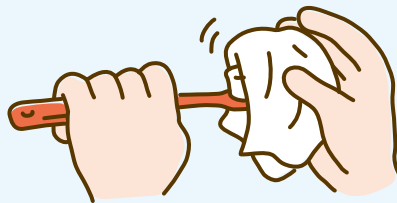
コップに歯ブラシが浸かるほどの水（30ml程度）を入れて歯ブラシをぬらします。



2

### 歯みがきをしましょう

歯ブラシに汚れや食べかすがついたら、ティッシュでふきとりましょう。



3

### うがいをしましょう

歯の面がツルツルになったら、1のコップの水でブクブクうがいを2~3回にわけて行いましょう。一度に多量の水を含むよりも、少量の水をお口に含んでうがいを繰り返した方が効果的です。

- 1とは別の歯ブラシゆすぎ用のコップがあれば、歯ブラシをゆすぎましょう。
- デンタルフロスや歯間ブラシなどの歯間清掃用具があれば、歯間ケアもしましょう。



## ! 歯ブラシがないときには?

朝起きたとき、食べた後、寝る前など、少量の水やお茶を口の中全体に行きわたるように、ブクブクうがいをしましょう。

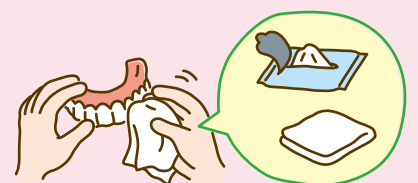


ハンカチやティッシュペーパーなどで、歯の表面の汚れをできる限り取りましょう。

## ! 入れ歯をお使いのときには?

避難生活で口の中を清潔に保つために、入れ歯をきれいにしておくことも大切です。入れ歯にも歯の汚れ（歯垢）がつくので、食後はできるだけ入れ歯をはずして汚れを落としましょう。同時に歯や口の粘膜をハンカチなどで拭いたりして清潔に保ちましょう。

- 入れ歯ケースや洗浄剤なども防災グッズに備えておきましょう。



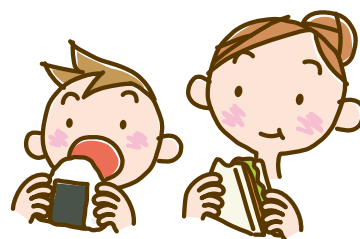
# 唾液 つば のチカラ

1日にでる唾液の量は1～1.5ℓといわれています。常に口の中にある唾液は「食べる」「お口の健康を守る」「全身の健康を守る」といった、さまざまな役割をもっています。

災害時は慣れない避難生活のストレスや偏った食生活が原因で、唾液の量が少なくなってしまい、口の中の細菌が増え、口の渇きやねばつきを感じることもあります。唾液をしっかりと出すには食事のときは、よく噛んで食べましょう。さらに、唾液のでる部分をマッサージしたり、舌を意識して動かしたりすることでも促されます。食事の前の唾液腺マッサージは効果的です。

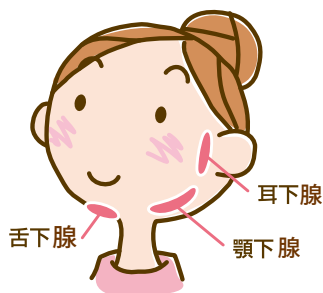
## みんなでよく噛んで食べよう

1日の生活の中で最も多く唾液のでるのが食事のときです。災害時は食料不足や食事が偏りがちになりますが、なるべくよく噛んで食べるように心がけましょう。唾液は、消化を助けたり、食べ物の飲み込みを助けたり、食事を美味しく食べるためにも重要な働きをしています。



●災害時に備えたローリングストック（循環備蓄）に適している切り干し大根やきざみ昆布などは、健康的でよく噛んで食べられる食品です。詳しいレシピは、[戸塚区 ローリングストック](#) で検索してみましょう。

## 唾液腺マッサージ



唾液は、主に、耳下腺、顎下腺、舌下腺という3つの大きな唾液腺から分泌されます。

じかせん  
耳下腺



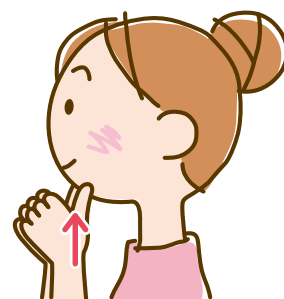
親指以外の4本の指で、上の奥歯あたりの頬にあて、後ろから前へ円を描くように、ゆっくり10回まわします。

がっかせん  
顎下腺



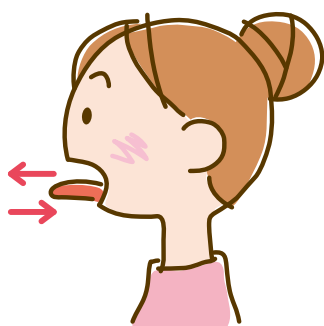
親指を下顎の骨の内側のやわらかい部分にあて、耳の下から顎の先まで5～10回おします。

ぜっかせん  
舌下腺

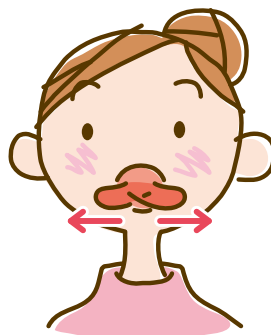


両手の親指をそろえて、顎の下から舌を押し上げるように5～10回おします。

## 舌の体操



お口を大きくあけて舌を前後に出したり、ひっこめたりします。



舌をできるだけ前に出して、そのまま左右に動かします。



唇をなぞるように舌で円を描きながら、まわします。（舌を右回り、左回り）

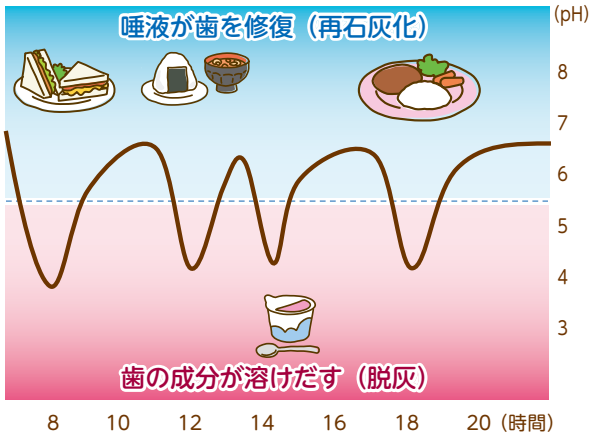


こどもたちの  
歯を守る  
ポイント!

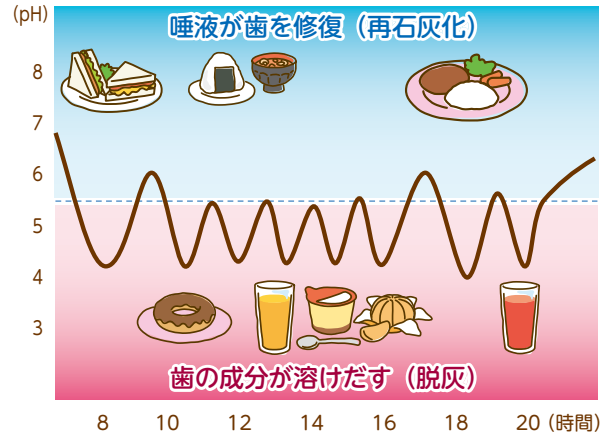
## 食生活でむし歯を予防しよう

避難生活が長引くと、菓子パンやお菓子などの間食を取ることが多くなりやすく、時間を決めずに食べたり飲んだりすることで口の中が酸性になり唾液で歯を修復する再石灰化が間に合わずむし歯になりやすくなります。食べる時間を決めて、早寝・早起きで、できるだけ規則正しい生活を心がけましょう。

規則正しい食生活



間食が多い食生活



## 誤えん性肺炎を予防しよう

高齢者の  
お口を守る  
ポイント!

食べ物や唾液などが気管に入ってしまうことを「誤えん」といい、誤えんが原因で起こる肺炎を誤えん性肺炎といいます。お口のケア不足だけでなく、唾液が少なくなる、飲み込む力が低下するなど、お口の機能低下によって起こる病気です。肺炎は、関連死（災害が直接の原因でない死）の内、最も多いとも言われています。そのため、口の中を清潔に保つこと、唾液の分泌を促すこと、お口の機能を保つことが予防につながります。意識してお口を動かす、お口の体操をしてみましょう。

### お口の体操



公益社団法人 日本歯科医師会 「非常時の口腔健康管理」 参考

### お問い合わせ

横浜市戸塚福祉保健センター 福祉保健課 健康づくり係  
電話：045 (866) 8427 FAX：045 (865) 3963

# 令和5年度 地域防災拠点運営研修のご案内

地震時の避難所である地域防災拠点は、拠点運営委員や避難された方によって運営します。  
本研修を受講いただき、具体的な運営方法を学びましょう。

## 1 研修対象者

拠点運営委員の方（研修の成果を地域防災拠点運営につなげていただくため、お手数ですが、各拠点の代表者の方からご推薦をお願いします。）

※推薦は任意です。

※各組織から **2名** まで推薦可能です。

※家庭防災員、防災ライセンス講習会、  
防災・減災推進研修を受講された方も推薦可能です。

### 【受講者の声】

想定していなかった課題をイメージできた。  
日頃からの事前の備えが大切だと感じた。



## 2 研修内容

### （1）研修カリキュラム

前半	【講義】 「 <b>地域防災拠点の運営方法について知ろう</b> 」	○地域防災拠点の運営方法や拠点運営の活動事例等について学びます。
後半	【グループワーク】 「 <b>避難所運営の模擬体験をしよう</b> 」	○ケーススタディを通して避難所で起きている出来事にどう対応するか図上にて体験します。

### （2）開催日時 ※ 内容はすべて同じです。

日程	時間	場所	定員
7月18日（火）	13：30～16：00	横浜市民防災センター（横浜駅）	60名
7月19日（水）	9：30～12：00	横浜市民防災センター（横浜駅）	60名
7月29日（土）	9：30～12：00	青葉区役所（市が尾駅）	50名
8月5日（土）	9：30～12：00	戸塚区役所（戸塚駅）	50名

## 3 申し込み方法

「地域防災拠点運営研修 推薦書」（別紙1）に、必要事項をご記入のうえ、郵送、FAXまたは電子メールにて、**6月21日（水）まで（必着）**に、以下の宛先にお申し込みください。

申し込みの受付や受講者決定通知の送付等は、イマジネーション株式会社に委託しています。

【宛先】イマジネーション株式会社

○郵送：〒231-8799 横浜港郵便局留 イマジネーション株式会社宛

○FAX：045-845-5500

○電子メール：yokohama-bousai@imagination.co.jp

裏面あり

## 4 受講者の決定

---

7月上旬ごろに、受講決定の通知を、受講者あてにお送りいたします。

※希望者が、定員を超えた場合は、来年度以降に受講をお願いすることがあります。その場合、「各区の受講者数のバランス」などを考慮し、受講者を決定させていただきますのでご了承ください。

## 5 自宅学習編のご案内

---

会場での受講のほか、横浜市が指定する動画を視聴した方は、「地域防災拠点運営研修」を受講したものとします（自宅学習編の受講にあたっては、お申し込みは不要です。）。

詳細は、本市ウェブサイトをご確認ください。

下記QRコード（またはURL、検索）により本市ウェブサイトへアクセスできます。



QRコード

横浜市 地域防災拠点運営研修 検索

URL : <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/chikitaisaku/kyotenkensyuu.html>

なお、昨年度と同様にDVD等動画視聴の方法でご受講いただいた方で、修了証発行を希望される場合には、お手数ですが「修了証発行申請書」（別紙2）を総務局地域防災課まで送付ください。

申請書受付期間：令和5年6月21日（水）から令和6年3月20日（水）まで

## 6 お問い合わせ

---

研修の申し込み方法等について（申し込みの受付業務を以下に委託しています）

担当：イマジネーション株式会社 電話：045-330-4705

研修の内容や自宅学習編について

担当：横浜市総務局地域防災課（森崎、福田） 電話：045-671-2011

## 7 その他

---

※当日午前8時の時点で「警報」または「特別警報」が横浜市域に発令されている場合や悪天候等の理由により中止することがあります。当日中止と判断した場合には、当日午前8時以降に横浜市ホームページにてご案内いたします。PC・スマートフォン等をお持ちでない方は、横浜市コールセンターまで御連絡下さい。

<研修に関するホームページはこちら>



QRコード

横浜市 地域防災拠点運営研修 検索

URL : <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/chikitaisaku/kyotenkensyuu.html>

<横浜市コールセンター> 045-664-2525 (平日・土日祝日いずれも 8:00~21:00)



令和 年 月 日

イマジネーション株式会社 行

地域防災拠点名 \_\_\_\_\_  
代表者名 \_\_\_\_\_  
住 所 \_\_\_\_\_  
電 話 \_\_\_\_\_

## 「地域防災拠点運営研修」推薦書

令和5年度の「地域防災拠点運営研修」受講者として、次の方を推薦します。

しめい 氏名	住所	電話番号
	〒	
	〒	

- ・各組織から2名まで推薦することができます。
- ・氏名は楷書で、ふりがなを付け、住所は棟室番号までご記入ください。
- ・**6月21日（水）まで（必着）**にご送付ください。

【受講希望日】 受講可能日（太枠）に○をつけてください。

※日程調整の都合上、できる限り多くの日程に○のご記入をお願いします。

実施日時	【第1回】 7月18日（火） 13:30～16:00	【第2回】 7月19日（水） 9:30～12:00	【第3回】 7月29日（土） 9:30～12:00	【第4回】 8月5日（土） 9:30～12:00
場所	横浜市民防災センター	横浜市民防災センター	青葉区役所	戸塚区役所
受講可能日 （○を記入）				

研修の申込みにあたり収集する氏名、電話番号、住所の個人情報は「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い、適正に管理し、決定通知の送付、研修の中止等、事務局から連絡の必要が生じた場合にのみ利用します。

【宛先】 イマジネーション株式会社

○郵送：〒231-8799 横浜港郵便局留 イマジネーション株式会社宛

○FAX：045-845-5500

○電子メール：yokohama-bousai@imagination.co.jp

総務局地域防災課 行

自治会・町内会等団体名 \_\_\_\_\_

代表者名 \_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_

電 話 \_\_\_\_\_

## 「地域防災拠点運営研修」修了証発行申請書

次の方は指定された地域防災拠点運営に関する動画を閲覧しました。「地域防災拠点運営研修」の修了証の発行を申請します。

しめい 氏名	住所	電話番号
	〒	

動画名（収録時間）	閲覧完了
横浜市「地域防災拠点」開設・運営マニュアル（約20分）	
地域防災拠点の開設・運営について（約18分）	
新型コロナウイルス感染症を踏まえた災害時の避難（約5分）	
在宅避難について（約5分）	

- ※ すべての動画を閲覧していただくことが修了証発行の条件となります。
- ※ それぞれの動画について、閲覧完了欄にチェックをお願いします。
- ※ 組織内で取りまとめてご提出される場合は、本紙の氏名欄に「裏面のとおりの」と記載し、裏面に希望者全員分の「氏名」・「住所」・「電話番号」をご記入のうえご提出ください。

閲覧した動画に  
チェック(✓)

【動画の案内】下記横浜市ホームページの掲載動画より閲覧をお願いします。



横浜市 地域防災拠点運営研修

検索

URL : <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/chikitaisaku/kyotenkensyuu.html>

## 【備考】

修了証発行の申込みにあたり収集する氏名、住所、電話番号の個人情報は「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い、適正に管理し、修了証の送付や研修のご案内等、事務局から連絡の必要が生じた場合にのみ利用します。

修了証には、地域防災拠点開設・運営マニュアルやスターターキット等、地域防災拠点運営を推進していただくうえで、参考となる資料を同封する予定です。また、申請書提出から修了証発行までに、数週間から数か月程度お時間をいただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

申請書送付先・問い合わせ先

※申請書はメール、FAX、郵送いずれかで送付してください。

総務局地域防災課（森崎・福田）

TEL : 045-671-2011 FAX : 045-641-1677

メール : so-gensai@city.yokohama.jp

住所 : 〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 10階



# 整備箇所

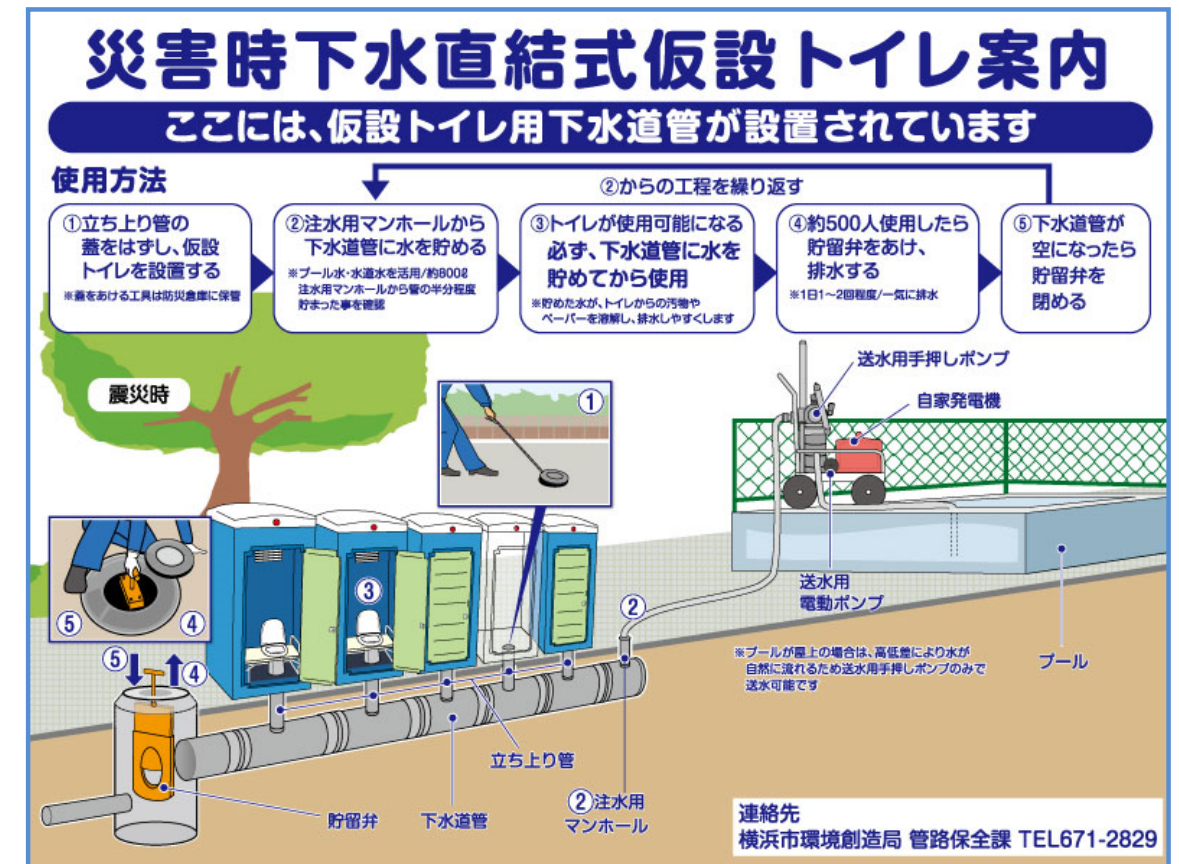
横浜市では、将来的には全ての地域防災拠点にハマッコトイレを整備する計画です。そのうち、以下の拠点について、整備が完了しています。(令和4年度末時点)

設置位置は、横浜市行政地図情報提供システムでも確認できます。

区名	整備拠点
鶴見	矢向小 上末吉小 下野谷小 平安小 鶴見小 豊岡小 潮田小 汐入小 入船小 生麦小 末吉小 市場小 新鶴見小 下末吉小 潮田中 市場中 鶴見中 寛政中 矢向中 生麦中 岸谷小 上寺尾小 東台小 末吉中 寺尾中 鶴見区役所 上の宮中 駒岡小 獅子ヶ谷小 馬場小 旭小 寺尾小
神奈川	神奈川小 西寺尾第二小 幸ヶ谷小 西寺尾小 子安小 二谷小 三ツ沢小 白幡小 大口台小 神橋小 浦島小 神大寺小 南神大寺小 神奈川区役所 青木小 栗田谷中 松本中 錦台中 斎藤分小 浦島丘中 六角橋中 神奈川中 中丸小 羽沢小 市立市民病院
西	平沼小 岡野中 老松中 稲荷台小 東小 宮谷小 一本松小 浅間台小 戸部小 西前小 西中 軽井沢中 西区役所
中	立野小 本牧南小 本牧小 間門小 本町小 北方小 元街小 大鳥小 港中 横浜吉田中 みなと総合高 山元小 仲尾台中 みなと赤十字病院 中区役所 (旧)富士見中 新市庁舎
南	井土ヶ谷小 中村小 南小 日枝小 南吉田小 大岡小 太田小 蒔田小 藤の木中 南区役所 石川小 蒔田中 共進中 平楽中 市民総合医療センター 南太田小 永田小 南中 別所小 南が丘中 藤の木小 六ツ川中 六ツ川小 永田台小 永田中 六ツ川台小 六ツ川西小
港南	永野小 小坪小 日野小 上大岡小 港南中 桜岡小 港南区役所 野庭中 日下小 野庭すずかけ小 笹下中 下野庭小 南台小 港南台第二小 丸山台小 吉原小 下永谷小 日限山小 相武山小 港南台第一小 日野南小 永谷小 港南台第三小 港南台第一中 芹が谷中 日限山中 芹が谷小 芹が谷南小
保土ヶ谷	坂本小 星川小 富士見台小 常盤台小 峯小 帷子小 宮田中 保土ヶ谷中 保土ヶ谷小 保土ヶ谷役所 桜台小 川島小 初音が丘小 仏向小 橘中 今井小 上星川小 新井小 瀬戸ヶ谷小 藤塚小 権太坂小 新井中 西谷中 岩崎小 岩崎中
旭	旭中 市沢小 二俣川小 鶴ヶ峯中 左近山小 今宿南小 横浜わかば学園 希望ヶ丘小 上白根小 東希望が丘小 四季の森小 上川井小 万騎が原小 鶴ヶ峯小 さちが丘小 若葉台小 白根小 不動丸小 善部小 左近山特別支援学校 笹野台小 本宿中 南本宿小 中尾小 旭北中 川井小 旧若葉台西中 南希望が丘中 今宿中 万騎が原中
磯子	森東小 杉田小 根岸小 屏風ヶ浦小 磯子小 滝頭小 汐見台小 岡村中 根岸中 磯子区役所 山王台小 汐見台中 森中 岡村小 梅林小 洋光台第一小 洋光台第二小 浜小 浜中 洋光台第三小 洋光台第四小 さわの里小
金沢	並木第一小 並木中央小 文庫小 金沢小 釜利谷東小 並木第四小 大道小 富岡小 釜利谷小 瀬ヶ崎小 八景小 六浦中 並木中 大道中 大学附属病院 六浦小 金沢区役所 西柴小 能見台南小 釜利谷南小 小田小 西柴中 朝比奈小 西富岡小 西金沢学園 能見台小 高舟台小
港北	新吉田第二小 北綱島小 綱島東小 日吉南小 駒林小 新吉田小 大曾根小 新田中 樽町中 篠原小 大綱小 新羽小 篠原西小 小机小 新田小 太尾小 菊名小 城郷小 矢上小 大豆戸小 港北小 城郷中 日吉台小 高田東小 綱島小 師岡小
緑	長津田第二小 東本郷小 中山中 山下小 三保小 いぶき野小 十日市場中 霧が丘複合施設「霧の里」 森の台小 鴨居小 上山小 中山小 霧が丘学園 山下みどり台小 田奈中 東鴨居中 新治小 十日市場小 竹山小 長津田小
青葉	谷本小 鴨志田緑小 荏田西小 青葉台中 榎が丘小 もえぎ野小 奈良の丘小 あかね台中 田奈小 奈良中 市ヶ尾小 つつじが丘小 みたけ台小 さつきが丘小 緑が丘中 藤が丘小 東市ヶ尾小 美しが丘東小 谷本中 みたけ台中 奈良小 恩田小 鉄小 鴨志田第一小 山内小 元石川小 新石川小 あざみ野中 あざみ野第一小 あざみ野第二小 美しが丘小 山内中 荏子台小 黒須田小
都筑	折本小 北山田小 都田中 都田小 牛久保小 勝田小 すみが丘小 中川小 茅ヶ崎小 川和小 都田西小 荏田南小 茅ヶ崎台小 川和東小 つづきの丘小 中川中 川和中 荏田小 荏田東第一小 茅ヶ崎中 山田小 都筑小 南山田小
戸塚	秋葉小 戸塚小 舞岡中 東戸塚小 東品濃小 戸塚中 戸塚区役所 倉田小 名瀬中 汲沢小 鳥が丘小 小雀小 矢部小 川上小 川上北小 大正小 名瀬小 南舞岡小 柏尾小 東汲沢小 大正中 東俣野小 下郷小 舞岡小 深谷中 深谷台小 深谷小 南戸塚小 平戸小 豊田中 汲沢中 品濃小
栄	本郷小 本郷中 西本郷中 豊田小 栄区役所 飯島小 笠間小 西本郷小 本郷台小 飯島中 桂台小 桂台中 桜井小 上郷小 小菅ヶ谷小 公田小 庄戸小 小山台小 千秀小
泉	中田小 葛野小 飯田北いちよう小 (旧)いちよう小 領家中 下和泉小 中田中 岡津小 新橋小 上飯田小 西が岡小 緑園東小 和泉小 中和南小 伊勢山小 泉が丘中 いずみ野中 中和田小 いずみ野小 東中田小
瀬谷	三ツ境小 瀬谷第二小 上瀬谷小 原中 県立横浜ひなたやま支援学校 瀬谷中 二つ橋小 相沢小 大門小 瀬谷さくら小 原小 南瀬谷小 南瀬谷中

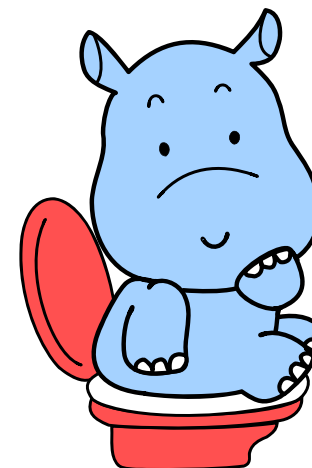
# 災害用ハマッコトイレ

災害時下水直結式仮設トイレのご案内



地震の影響で水洗トイレが使用不能となった場合でも、地域防災拠点などにおいて衛生的に使用できる仮設トイレです。

- ① 専用マンホールの上に便器や外壁パネルを設置します。
- ② 送水ポンプで専用下水道管に水を貯めます。管の半分程度まで貯めたら、準備が完了です。
- ③ 500回程度トイレを利用するごとに、貯留弁の取っ手を真上に引き上げ、汚物と水を公共下水道管へと流し出します。
- ④ 流しきったら、取っ手を離して貯留弁を閉じ、ふたたび送水ポンプで水をくみいれます。



横浜市 環境創造局 管路保全課  
 Tel 045-671-2829  
 Fax 045-641-5330

〔上屋について…資源循環局 街の美化推進課〕  
 Tel 045-671-2555

## 整備の様子 & よくある質問

普段はマンホールのみ露出しています。また、近くに案内の看板があります。  
整備場所がグラウンド内である場合、7cm程度に埋設して設置されていることがあります。



上屋の部分やポンプ・ホースは、主に、地域防災拠点の防災備蓄庫に保管されています。



Q. どのようにして専用下水道管に水を入れるのですか。

A. プールなどの水源の近くに置いたポンプから、ホースをマンホールの位置まで繋ぎ、送水します。所用時間は条件によりますが、おおむね15分程度です。ポンプは台車がついているもので、水源の位置に応じ、手押しポンプか、電動ポンプとガスポンベ式の発電機がセットになったものが、防災備蓄庫等に納入されています。

Q. 「貯留弁を引き上げ、専用下水道管を空にし、再びポンプの水を汲みいれる」操作は、どのようなタイミングで行えばよいですか。

A. 設計上では、トイレが500回(5基合計)使用されるごとに貯留弁を開くとしております。1日に数回、時間を決めて操作をすればよいでしょう。また、貯留弁は、仕切りの上側に穴が開いており、もしも容量を超えて使用された場合は、その穴から越流するようになっています。この越流が確認されたら操作をするという運用でもよいでしょう。

Q. 水源の水や、発電機用のガスポンベは何日分ありますか。足りなくなってしまうことはありませんか。

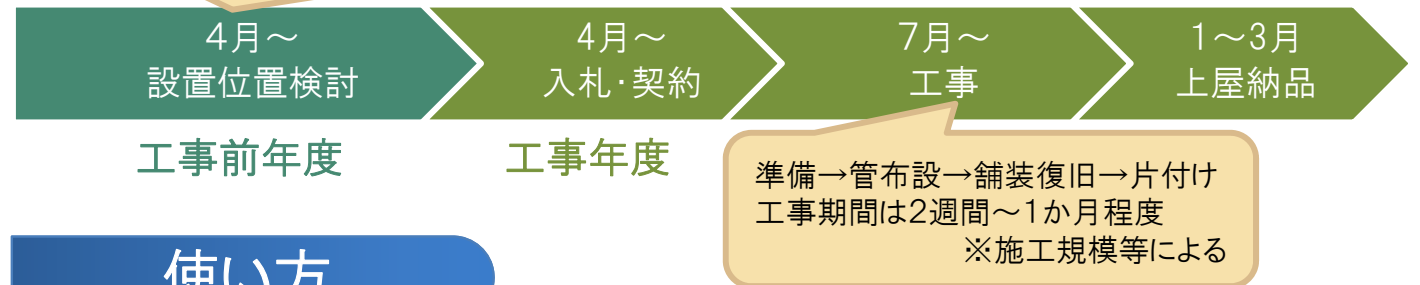
A. 学校のプールに貯留されている水量は、おおむね150日分以上になりますので、十分な量があります。プールの無い場所では、貯水槽等を近くに設け、最低でも約2週間分の水を貯留しています。また、水道水や河川の水等を利用して構いません。  
付属の発電機で利用するガスポンベは、ホームセンター等で販売されている一般的なものです。1回の送水につき発電機の運転が15分程度であるのに対し、10時間分(20本)の備蓄をしています。

Q. 上屋やポンプ等の大きさはどのくらいですか。

A. メーカーにより異なりますが、梱包時の最大寸法は以下の通りになります。  
通常型建屋…W105cm×D20cm×H200cm×4基  
通常型台座…W90cm×D90cm×H35cm ×4基  
車いす対応型建屋…W140cm×D20cm×H210cm×1基  
車いす対応型台座…W100cm×D90cm×H35cm×1基  
地上型ポンプ…W80cm×D80cm×H120cm  
屋上型ポンプ…W90cm×D90cm×H120cm  
取水ホース…外径約4cm×長さ5m×1本  
送水ホース…外径約4cm×長さ20m×必要本数

## 整備までのスケジュール(目安)

(随時)現況調査、図面調査  
(8月頃)設置位置の候補を数か所挙げて協議、設置位置最終決定  
(必要に応じ冬頃)試掘工事



## 使い方

①マンホールを開けます。 ②上屋を組み立てます。



③プール等からポンプで専用下水道管に水を入れます。



④ 5基合計でおよそ500回トイレを使用した後、貯留弁のレバーを真上に引き上げ、水と汚物を流し出します。流しきったら、取っ手を離し、弁を閉めます。③と④を繰り返します。



地域防災拠点で工夫をしている例

災害用ハマッコトイレの組み立て方法・ポンプの使用方法については、YouTubeに説明の動画があります。  
「下水直結式仮設トイレ」で検索してください。  
設置位置は「わいわい防災マップ」「だいちゃんマップ」にも記載しています。



- 「下水直結式仮設トイレ～使用方法～」 <https://youtu.be/gRZvrLIJtdc>
- 「下水直結式仮設トイレ～送水用ポンプの使い方～」 <https://youtu.be/gEKMbQTTacA>

## ハマッコトイレの地域要望(治具配布・動画公開)への対応について

これまで、地域防災拠点運営委員と市職員の共同で防災訓練の一環としてハマッコトイレの設置訓練を行った中で、地域から要望のあった事項について対応します。

### 1 貯留弁用開閉治具の配布について

令和2年度以前に整備済みのハマッコトイレ332拠点について、排水作業の容易性の向上のため、貯留弁用開閉治具(以下、治具という)を配布します。なお、令和3年度以降は、ハマッコトイレ整備に合わせて治具を配布しております。

- ・配布予定時期: 令和5年10月から12月予定
- ・配布箇所: 各地域防災拠点の防災倉庫等(区役所、病院を含む)
- ・配布方法: 委託業者より各地域防災拠点等に納入し、各学校(管理者等)の方からサインを受領します。

**※1 ハマッコトイレの備品を地域防災倉庫以外に格納している場合は、地域防災委員の方々に治具の移動をお願いします。**

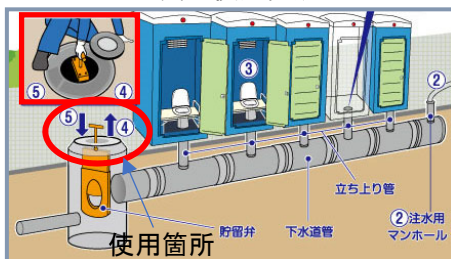
- ・配布対象拠点: **別紙1**を参照ください。

治具の大きさ



縦 78 cm × 横 48 cm × 高さ 7 cm  
重さ 1.8 kg

治具の使用箇所



治具の設置状況



※2 治具の使用方法については、**別紙2**を参照ください。

### 2 ハマッコトイレ(グランド埋設型)の使用法の動画公開について

ハマッコトイレをグランドに設置しているケースがあります。その場合、安全性を考慮してマンホールをグランドから7cm低いところに埋めています。このマンホールの探し方から設置までの手順の説明動画を作成しましたので、公開します(令和5年6月上旬 HP にアップ予定)。

URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kasen-gesuido/gesuido/bousai/sinsaitoire.html>



※3 この情報は、地域防災拠点運営委員会連絡協議会(総会)へ周知、対象の各校へ通知および教育委員会に共有を行う予定です。

## 対象拠点一覧

行政区	拠点名	整備 年度	貯留弁用 開閉治具 配布対象	グラウンド 埋設型
戸塚	秋葉小学校	H26	○	×
	舞岡中学校	H26	○	○
	戸塚小学校	H27	○	×
	東戸塚小学校	H29	○	×
	東品濃小学校	H29	○	○
	戸塚中学校	H29	○	×
	戸塚区役所	H29	○	×
	倉田小学校	H30	○	×
	名瀬中学校	H30	○	×
	汲沢小学校	R1	○	×
	鳥が丘小学校	R1	○	×
	小雀小学校	R1	○	×
	矢部小学校	R1	○	×
	川上小学校	R1	○	×
	川上北小学校	R2	○	○
	大正小学校	R2	○	×
	名瀬小学校	R2	○	○
	南舞岡小学校	R2	○	×
	柏尾小学校	R2	○	×
	東汲沢小学校	R3	×	○
	深谷中学校(H31～拠点)	R3	×	×
	大正中学校	R3	×	×
	東俣野小学校	R3	×	×
	下郷小学校	R3	×	×
	舞岡小学校	R3	×	×
	深谷台小学校	R4	×	×
	深谷小学校	R4	×	×
	南戸塚小学校	R4	×	○
	平戸小学校	R4	×	×
	豊田中学校	R4	×	○
	汲沢中学校	R4	×	×
	品濃小学校	R4	×	×
	平戸台小学校	R5	×	×
	上矢部小学校	R5	×	×
	境木中学校	R5	×	○
	南戸塚中学校	R5	×	○
	境木小学校	R5	×	×
合計拠点数	37	—	19	9

## ハマッコトイレ貯留弁用開閉治具の使用方法について

### 【目的】

貯留弁用開閉治具を使用することで、立ったまま取っ手を引き上げることができ、開閉治具の穴にストッパーを差し込むことで、汚水がすべて流れきるまで弁が開いている状態を維持することができるため、排水作業の容易性の向上が図られます。



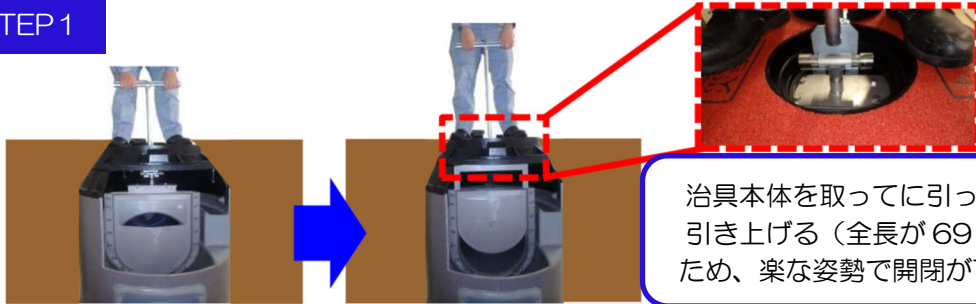
貯留弁引き上げ状況



貯留弁の開状態

### 【使い方】

#### STEP 1



治具本体を取ってに引っ掛け、引き上げる（全長が69 cmあるため、楽な姿勢で開閉が可能）。

#### STEP 2

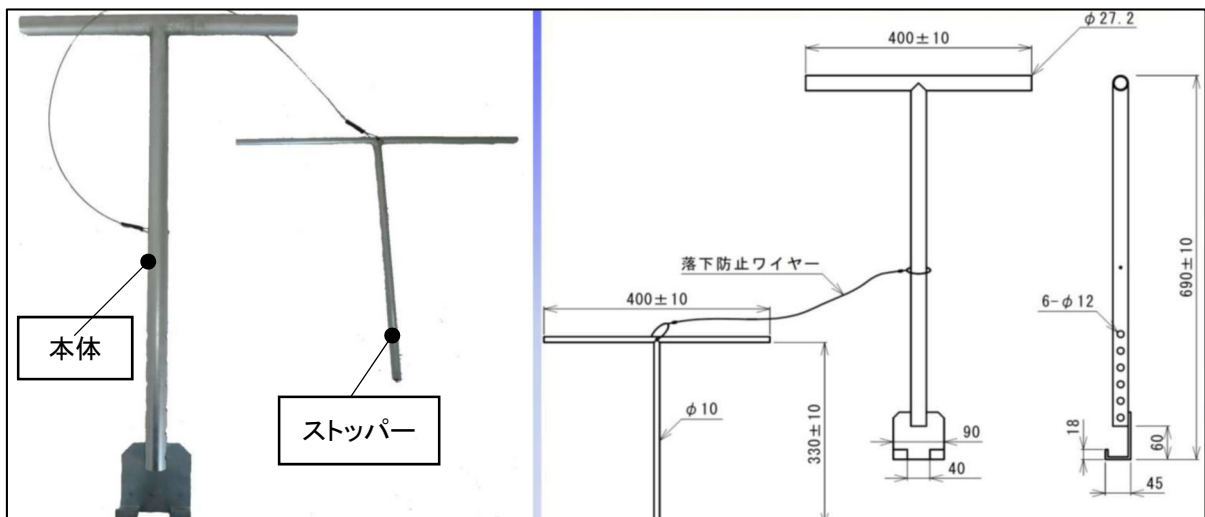


治具本体の側面の穴にストッパーを差し込む



人力による開状態を保持する必要なし

### 【製品図面】





## 令和5年度 災害時に備えた訓練《水道局》

震災に備えて、日頃から訓練を重ねることが大切です。水道局では、災害時給水所にある災害用地下給水タンクなどで地域の皆さまと応急給水訓練を実施しています。

この訓練で、災害時給水所の場所や災害用地下給水タンクの取り付け方法をご確認いただくなど、災害時の応急給水活動を地域の皆さまの「共助」で行う体制を強化しています。

つきましては、地域防災拠点の訓練実施の際に、応急給水訓練の実施もご検討くださるようお願いいたします。

### 災害対策の基本的な考え方

災害に備え **1人1日3リットル、最低3日分** で**9リットル以上の飲料水備蓄**をお願いしています。

災害時の飲料水確保の方法				発災直後から3日目まで	発災4日目以降
飲料水確保の場所	目印	施設の種類など	分類	開設者	
ご家庭・企業	—	備蓄している飲料水	自助	—	→
災害時給水所	 ● 災害用地下給水タンク 134基 標識	 災害用地下給水タンク概要図	共助	地域の皆さま (管工事協同組合 開設の補助)	→
	 ● 配水池 22カ所	 小宮浄水場配水池(戸塚区)		水道局職員	→
	 ● 緊急給水栓 358基 のぼり	 緊急給水栓概要図	公助	水道局職員 管工事協同組合	→
	給水車	 横浜市水道局		水道局職員 応援都市職員	→

災害時に**水道局職員等**が水質等の安全性を確認後、応急給水を**開設・開始**します。  
したがって、皆さまによる開設訓練は必要ありません。

## 1 実技編 (実際に皆さまに体験していただく訓練)

### 災害用地下給水タンクを開設して飲料水を確保する訓練

☆今年度も横浜市管工事協同組合が参加します！

《内容》発災直後において地域の皆さまの助け合いにより災害用地下給水タンクを開設し、飲料水を確保できるようにするための訓練です。

《対象》災害用地下給水タンクが設置されている地域防災拠点(8か所)と消防訓練センター  
 名瀬中学校・舞岡中学校・平戸小学校・秋葉小学校・戸塚中学校・倉田小学校  
 下郷小学校・東俣野小学校・(拠点外)消防訓練センター

※訓練メニューは裏面をご覧ください。

**(1) <<少人数向け>>組み立て実技訓練**

運営委員会メンバー又は運営委員会が指名したメンバー（食料物資班など）などに対して、装置組み立てや操作などの実技訓練を行います。

《所要時間》30分～45分

《対象人数》10人～15人程度

★全体訓練開始前・終了後に行うことも可能です。



**(2) <<大人数向け>>組み立て見学及び実技訓練**

全体訓練の参加者等（複数のグループ）を対象に、水道局職員、運営委員会又は管工事協同組合員等が行う装置組立て作業を見学しながら、何人かの方(5人程度)に組立作業を体験していただきます。

また、災害時に飲料水を確保する方法や、飲料水の備蓄等に関する説明をします。

《所要時間》1グループあたり20分～30分

《対象人数》1グループ50人以内（実技は5人程度）



災害用地下給水タンクは、拠点の皆さまで設営する設備です。設置拠点におかれましては、積極的に訓練を実施していただきますようお願いいたします。

**2 概要説明・ミニ講座編**

説明のみ

**「災害時の飲料水確保について」**

《内容》災害時に飲料水を確保する方法や地下タンク・緊急給水栓の機能や役割、及び飲料水の備蓄のお願いなどを説明します。参加者の皆さまにチラシを配布して、訓練全体集会の場などで説明します。（自助・共助・公助の役割など）

《対象》すべての地域防災拠点

※複数の地域防災拠点訓練日程が重なった場合には、ご希望に添えない場合がございますのであらかじめご了承ください。

《所要時間》10分～15分

依頼方法及び問合せ先

**【依頼方法】**

地域防災拠点参与（各拠点を担当する区役所の課長又は係長）経由で区役所にご依頼ください。



ご不明な点がございましたら、水道局までお問い合わせください。

横浜市水道局 戸塚水道事務所 事務係 防災担当

電話:045-871-6461 FAX:045-864-4182



水道局キャラクター  
はまピョン

令和 年 月 日

横浜市水道局 戸塚水道事務所 あて

(区役所地域防災拠点参与 経由)

(FAX 864-4182)

## 災害時に備えた訓練依頼書

次のとおり、水道局による訓練を依頼します。

地域防災拠点名： \_\_\_\_\_

運営委員会委員長： \_\_\_\_\_

区役所参与： \_\_\_\_\_

実施日	令和 年 月 日 ( )
時間	午前・午後 時 分 ~ 時 分

希望する訓練にチェックを入れてください。

<input type="checkbox"/>	災害用地下給水タンクの組立て実技訓練
<input type="checkbox"/>	概要説明・ミニ講座（講話のみ）
<input type="checkbox"/>	緊急給水栓からの給水体験（設置は水道局が行います。）

通信欄（ご要望等がある場合は、こちらに記入してください。）

※複数の地域防災拠点訓練の日程が重なった場合等には、ご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

令和5年5月 24 日

地域防災拠点運営委員長

## 災害用コミュニケーションボード等の再配布について(依頼)

日頃から、災害時にも安心して生活ができるための支援、ご尽力いただきありがとうございます。  
災害時に障害者とのコミュニケーション等に役立てていただきたく、平成20年にコミュニケーションボード等のセットを配布しておりますが、備品台帳に入っていないため紛失等が発生していることを考慮し、再配布を行います。

災害用コミュニケーションボードは、横浜市内にある障害者団体や、親の会、障害者作業所や活動ホームの連絡会、そして社会福祉協議会、横浜市役所関係部署で組織する「セーフティーネットプロジェクト横浜」というグループで、企画し、作成したものです。

## ○配布数 1セット

## &lt;内容&gt;

- ・説明文書(趣旨書) 1
- ・コミュニケーションボード 3
- ・啓発チラシ 3
- ・文字盤 3
- ・バンダナ 緑色3 黄色3

※クリアーボックス(A4 幅3センチ程度)に入れて配布します。



## ○配布時期 8～9月頃

(総務局地域防災課が行う備蓄食料の更新に併せて配送させていただきます。)

被災時には地域防災拠点において障害のある方も避難生活を送ることが想定されます。その際に、拠点の関係者が少しでもスムーズにコミュニケーションができるよう、コミュニケーションボードを配布しています。

また、セーフティーネットプロジェクト横浜では出前講座を行っており、障害のある方への理解促進や防災拠点で気にかけてほしい点等をお伝え可能です。お気軽に、横浜市社会福祉協議会・障害者支援センターまでご相談ください。

## &lt;問合せ先&gt;

横浜市社会福祉協議会・障害者支援センター

TEL : 045-681-1211/Fax : 045-680-1550

横浜市健康福祉局障害施策推進課

TEL : 045-671-3598/Fax:045-671-3566

# 地域防災拠点運営委員会向け 資料

令和5年5月24日

横浜市アマチュア無線非常通信協力会戸塚区支部

## 地震発生時に区役所災害対策本部との連絡がアマチュア無線により確保できます。

私たちは、横浜市との協定に従い、被災時に**地域防災拠点運営委員会**の情報伝達をサポートするボランティア団体です。横浜市のデジタル移動無線を補完するため区役所と地域防災拠点間の情報連絡を担当します。運営委員会とのスムーズな連携ができる様、地域防災拠点の訓練にも参加しています。戸塚区役所総務課危機管理担当部署宛てに当支部への参加要請をお願いします。

### 1. 各地域防災拠点運営委員会により実施されている防災訓練プログラムに組み込んで頂いて、次のような「非常通信訓練」を実施しています。

#### 訓練内容

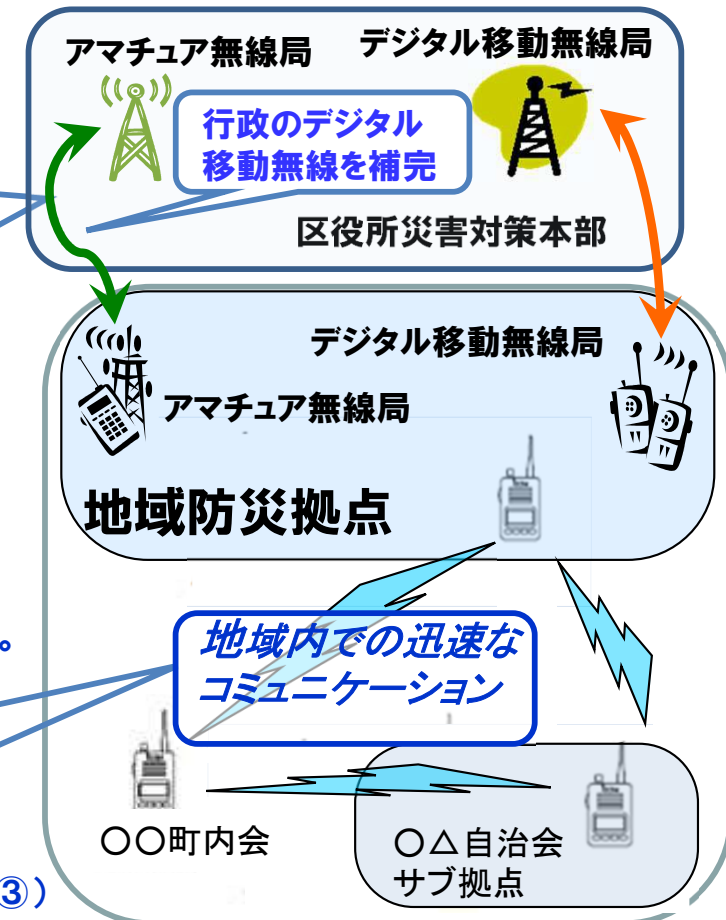
- (1) 備蓄庫に保管されているアンテナ等と当協会員の無線機を使用し、アマチュア無線局を地域防災拠点内に開設します。
- (2) 戸塚区役所⇄地域防災拠点間で非常時を想定した模擬非常通信(通信チャンネル確保、無線局の開局報告など)を行います。
- (3) さらに、地域防災拠点の運営委員会から区役所災害対策本部に送る被害情報等をアマチュア無線で伝達します。

### 2. 地域防災拠点運営委員会の円滑な活動には地域内のコミュニケーションが不可欠です。現在、ライセンスフリー(誰でも使える)・トランシーバーは、次の3種類があります。これらの紹介・体験、導入・運用のサポートやアドバイスをを行っています。

- (1) 特定小電力トランシーバー(備蓄庫に保管あり、主に拠点内で利用可)
- (2) デジタル小電力コミュニティ無線(概ね2kmの距離で通話可能、最新型)
- (3) デジタル簡易無線(概ね4kmの距離で通話可能、総合通信局に登録要)

#### 参考:アマチュア無線による非常時通信の強み(①、②)とボランティア活動への利用範囲拡大(③)

- ① デジタル移動無線機は、横浜市全体で40回線程度であり、災害時に混雑が想定されます。各区ごとに割り当ててあるアマチュア無線の周波数により交信を行うので、各区の災害対策本部との情報通信はより円滑に行えます。
- ② デジタル移動無線は1対1の交信しかできませんが、**区内の他の地域防災拠点と区役所災害対策本部との交信も聞くことができ、また防災拠点間の直接交信も可能で、地域全体の状況を把握できます。また、携帯型アマチュア無線機で、地域内外に移動しても連絡できます。**
- ③ アマチュア無線の制度改正がなされ、従来、他の通信手段が使えない場合に限り行えた非常通信だけでなく、ボランティア活動として、他の通信手段の有無に関係なく、災害復旧時等でも、アマチュア無線を使うことが可能となりました。





## 横浜市アマチュア無線非常通信協力会 戸塚区支部

横浜市アマチュア無線非常通信協力会は、災害時に情報伝達の分野で防災拠点のお手伝いをするボランティア団体です

アマチュア無線を通して一緒に地域貢献しませんか！

# メンバー募集中 !!

- 市役所、区役所には非常時の情報収集、伝達を目的としたアマチュア無線局が設置されています
- 横浜市アマチュア無線非常通信協力会は横浜市と協定を結び、横浜市の要請により活動します
- 横浜市アマチュア無線非常通信協力会は区役所と地域防災拠点とをアマチュア無線で繋がります



イラスト JARL アマチュア局の非常通信マニュアルより

### 非常通信協力会のあゆみ

横浜市では全国に先駆けてアマチュア無線を非常通信で活用する体制を構築しました  
1971年に発生したカリフォルニア大地震でアマチュア無線が非常通信分野で有効との調査結果から情報収集、授受の円滑化を目的に横浜市と協力会が協定を結びアマチュア無線と行政が連携する体制がスタート

### 活動内容

非常時には市からの要請により市内の情報収集、区役所本部と地域防災拠点間の情報伝達を主に行います  
平時には非常時に円滑に運用ができるよう訓練等を行っています

- 地域防災拠点での訓練に参画
- 区役所局の運用
- 毎月1回のロールコールによる通信訓練

### あなたの参加をお待ちしています

戸塚区支部では約50名の会員で活動を行っています  
戸塚区には35の地域防災拠点があり、その全てに担当会員を配置できていません  
無線の免許をお持ちの方の参加をお待ちしています  
免許をお持ちでない方には免許取得をサポートします

### 入会希望・お問い合わせはこちら



戸塚アマチュア無線クラブのHPから

<http://tarc.yokohama>

スマートフォンからは



# 「横浜防災ライセンス とつか」のご紹介

## 当会の目的

- ① 地域防災力向上に向けて、皆様の自治会・町内会・地域防災拠点運営委員会が開催する様々な防災活動への協力・支援を行う。
  - ② 地域の様々な活動を通じて、防災ライセンスリーダーのネットワークづくりや資機材取扱技術の維持・向上並びに情報提供を行う。(戸塚区防災計画に基づくもの)
  - ③ 地域防災拠点に限らず、防災に関する知識技術の普及・啓発活動を通じて区民の安全・安心の街づくりに貢献する。(ただ考えるだけではなく行動が必要です)
- 以上の目的の達成に向けて、戸塚区で発足したボランティア団体です。

## 横浜防災ライセンスとは・・・

※横浜市では地域防災拠点に備蓄した防災資機材(生活・救助資機材)の取扱講習会を開催しています。そこに参加し、学んだ方に資機材取扱リーダーとして「横浜防災ライセンスリーダー証」を発行しています。この資機材取扱リーダーが各地域防災拠点の防災活動に参画することで地域防災力の向上を図っています。

## 活動内容

- (1) 地域防災拠点に備蓄されている、生活・救助資機材の正しく安全な取扱い方の説明
  - 移動式炊飯器活用方法 発電機・投光器使用(ここ数年で新型に更新された)
  - 毛布担架訓練 トイレ関連全般 災害用地下給水タンクの取扱訓練(水道局監修必須)
- (2) 資機材のメンテナンス(動作確認、オイル点検、使用後点検等、確実にを行います)
- (3) 防災ライセンスリーダーのフォローアップ研修、育成
- (4) 防災教育(子供から大人まで 講習会形式 炊出袋の利用、家具転倒に関する講話)

### 地域の皆様へのアピールポイント

- ① 当会は2年続けて戸塚区より活動補助金を受けるなど、地域貢献に実績があります。
- ② 更新された資機材の正しい取扱い方も心得ているので、訓練等の安全に貢献いたします。

例) はまっこトイレ 灯油式かまどセット 発電機(カセットガス ガソリン)

地域防災拠点運営委員会において、防災備蓄庫の資機材の事で何かお困りのことがありましたら、下記のメールアドレス以外でも、拠点担当の係長、総務課の防災担当を通しての連絡でも結構です。

※ 地域の実情・要望に沿い、柔軟に対応いたします。まずは気軽にご連絡を。

連絡先 E メール : [totsukabousai@yahoo.co.jp](mailto:totsukabousai@yahoo.co.jp) 代表 中村文彦

## とつか災害ネットのご紹介

万が一戸塚区で大規模災害が発生したときには、戸塚区災害ボランティアセンターが立ち上がります。この時、戸塚区へ支援に来たボランティアは受入・調整され地域防災拠点・自治会等被災された方々のニーズ(派遣要望)を元に区内各所へと派遣されます。

このボランティアを派遣する役割を担う団体が「とつか災害ネット」です。

この災害ボランティアセンターは、戸塚区社会福祉協議会と私達が協力して設置運営を行います。

ボランティアの受入・調整等を円滑に行い、地域の支援に役立てるためには一定以上の技術を必要とするため、平常時から災害ボランティアセンター立ち上げ訓練(シミュレーション)、自治会・町内会、そして地域防災拠点運営委員会を始めとした地域の方々との協力関係が必要不可欠です。

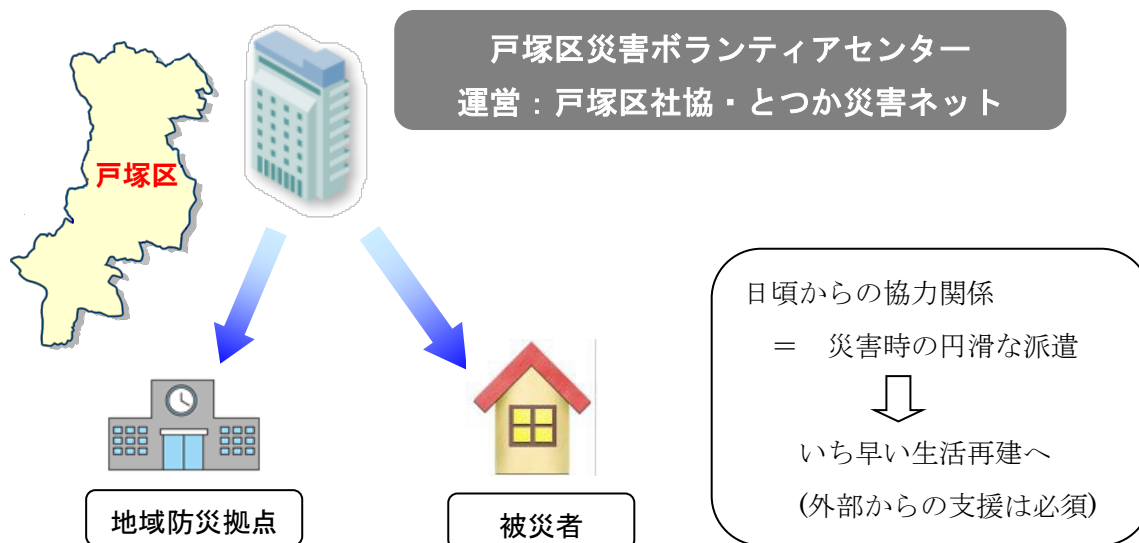
### 【地域防災拠点等との関わり】

日頃の拠点運営委員会においては訓練内容や備えについての助言等をさせて頂いたり、拠点運営委員会の皆様と共に災害ボランティアセンター(以下災害 VC)開設受入訓練を行う等協力関係を築き有事に備えます。また拠点訓練当日には災害 VC の説明やその他拠点訓練のお手伝いもさせて頂きます。

マンネリ化した訓練等からの脱却、より実践的な取組へのお手伝いいたします。

私達は皆様と一緒に地域で防災・減災を考えていきます。

## 戸塚区災害ボランティアセンターとは？



連絡先：とつか災害ネット（正式名称：とつか災害救援活動ネットワーク）

連絡先アドレス [totsukasaigai@yahoo.co.jp](mailto:totsukasaigai@yahoo.co.jp) フェイスブックで防災情報発信中！

ホームページ(HP) 「とつか災害ネット」で検索してください。



# エフエム戸塚 83.7MHz ご紹介資料



## 編成方針 5本柱！

### ①危機管理メディア

防災・防犯などの情報、災害時の緊急放送の発信などの責務を果たすべく地域密着型の番組編成や制作を行っています。

### ②災害時における情報発信

戸塚区・栄区・泉区との防災協定、各区警察署・消防署などの機関との『情報提供に関する覚書』を締結しています。災害時はもちろん、平常時にも生放送番組におけるレギュラー出演、インフォメーションとして情報提供・注意喚起を発信しています。

### ③現況に応じた放送

コロナ禍でも地域の団体や行政機関、また企業との情報共有に努め、コミュニティ放送局として地域連携体制を再構築しています。

### ④使命を果たすため

コミュニティ放送局最大の使命は災害発生時の災害情報発信、そして普段からエフエム戸塚の放送に親しんでいただくために、横浜エリア・戸塚周辺エリア「いいね！」な最新情報を発信、さらにより多くの方に聴いていただくためにIPサイマル配信を活用しています。

### ⑤地域連携を大切に

情報提供に関する覚書を各区連合町内会や学校など各団体と締結し定番コーナーを設けてご出演により活動を紹介します。災害時にも各団体から情報収集し発信しています。



モレラ東戸塚スタジオ

J R東戸塚駅西口・モレラ東戸塚

〒244-0805 横浜市戸塚区川上町 91-1 モレラ東戸塚 2階



サクラズスタジオ

J R戸塚駅西口・サクラズ戸塚

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 4253-1 サクラズ戸塚 2階

# ラジオ放送



PC やスマートフォンで、どこにいても聴くことができます。



for iPhone

for Android



年に2度発行されるタイムテーブル（番組表）の、番組紹介ページに放送広告スポンサー様の名称を記載いたします。

このタイムテーブルは、各町内会、自治会さまのご協力のもと半年に約12万部を各ご家庭に配布しています。

◆2023年度春発行分では戸塚区は約6万部、栄区は約3万部の配布実績を見込んでいます。

無料のアプリダウンロードでどこにいても聴くことができます。

専用アプリのダウンロードは約3.5万件です！

## MA Lera vision



●商業施設の北側壁面3画面  
ビジョンサイズ W3,200mm × H2,240mm  
(320pix × 224pix)  
(中央のビジョンでは共同通信ニュースを配信)



●モレラパーク（イベント広場）  
ビジョンサイズ W3,600mm × H2,400mm  
(384pix × 250pix)

モレラビジョンでのPRを行います。  
JR東戸塚駅から10秒のところにあるため、駅を利用する方は目にします。  
東戸塚駅は全国75位の乗降率であり、1日約12万人が利用します。  
災害時には、帰宅困難者受け入れ施設の紹介と受け入れ状況を映像で発信します。  
※災害時には災害時情報提供の覚書を締結しているJCOM 湘南・神奈川の災害情報を放映

## イベント事業



エフエム戸塚のイベントは、街づくり活動の一環として、多くの企業様にご協賛をいただいて開催しています。恒例のダンスコンテスト、カラオケコンテストなど参加型のイベントでは近隣地域の方々を中心に、多くの方々にご参加いただき、地域の賑わい創出に取り組んでいます。他にも、東戸塚ミュージックライト（イルミネーション）や幼稚園児や小学生を対象とした季節のイベント（節分祭・ひなまつりの会・流しそうめんなど）で子どもたちの思い出づくりのお手伝いをしています。

## 義援金活動

エフエム戸塚では被災地を支援する活動を継続して行っています。

### 義援金活動実績

東日本大震災 / 熊本地震復興支援 / 熊本城復興支援 / 九州豪雨 福岡県東峰村 / 九州豪雨 大分県日田市 / 西日本豪雨 / 北海道地震 / 令和台風 / 令和2年豪雨 / 福島県沖地震 / 熱海市土石流災害